

私はこうして詐欺被害をまぬがれました!



詐欺グループからのうその電話やメールに騙されたものの、金融機関・コンビニの職員の声かけや、警察への相談によって、直前で詐欺に気づき、被害を免れた実例を紹介します。

還付金詐欺



市役所から「医療費の還付金をATMで受け取る」と電話を受けたので、指示されたとおり、最寄りの銀行のATMに行きました。携帯電話で手順を聞きながら操作していたところ、銀行の職員の方に「もしかして、還付金詐欺の電話ではないですか」と声をかけられ、その時初めて騙されていたことに気づきました。被害は免れましたが、まさか私が騙されそうになるとは思いもしませんでした。

ATMで
携帯電話...



電子マネーを
高額購入...



携帯電話のメールに「有料サイトの料金未払いのお知らせ」が届き、身に覚えはなかったものの、「裁判になる」との内容に慌てて記載してある連絡先に電話しました。するとコンビニで電子マネーを10万円分購入して支払うように言われました。コンビニに着き、購入しようとする時、店員さんに使用目的を聞かれたので、有料サイトの支払いであると答えたところ、「電子マネーを利用した詐欺が増えている」と聞き、自分が被害に遭いそうだったことが分かりました。

架空請求詐欺



オレオレ詐欺



息子から「電話番号が変わった」「会社のお金を使い込んだため、500万円用意してほしい」とたて続けに電話がかかりました。息子のためにお金を用意していたところ、息子ではなく、代わりの者が自宅に取りに来ると言ったため、不審に思い警察に相談しました。すると息子の元の電話番号に掛けるよう助言され、元の番号に掛けてみると、うその電話だったと気づきました。



少しでも不審に思ったら一人で判断せず、家族や警察に相談しましょう。
また、周りで被害に遭いそうになっている人がいたら、積極的に声をかけてください。



お問合せ先
富山県警察本部 生活安全部 生活安全企画課 犯罪抑止対策係
電話:076(441)2211(代表)